施策評価シート

施策等名称	循環器疾患対策	体系番号	0101010502
		主管課	健康づくり推進課

1　施策基本情報

現状と課題	特定健診の受診者で重症高血圧の人の率が、県内19市中トップとなっています。脳血管疾患を発症している方のうち、発症してから高血圧の治療が開始されている方もみられます。また、健診を受けても、高血圧の治療につながらない方もいたり、降圧薬を飲んでも高い状態の方がいます。 メタボリック該当者と予備群の方が減少していません。 特定健診の受診率は、目標に達していません。
めざす将来像（あるべき姿、基本的な考え方）	市民の皆さんが、特定健診を受けることで、自分のからだについて知って、健康を保つために行動できるようになることを目指します。特定健診を受ける人を増やし、健診結果により保健指導を行います。高血圧の人についても個別に保健指導を行い、家庭血圧の測定をすすめ、必要な治療につなげます。高血圧についての正しい知識をもっていただくような働きかけを行います。

施策指標		指標名称	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
	①	虚血性心疾患の死亡　男性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率（率）	23.40	19以下
	②	虚血性心疾患の死亡　女性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率（率）	12.70	11以下
	③	40～64歳の高血圧の割合	血圧180mm/110Hg以上の人/受診者（%）	0.50	0.00

施策の体系

施策の柱1

名称	循環器疾患対策	主管課	健康づくり推進課
詳細	循環器疾患のリスクを減らすため、健診を受けやすい環境の整備を進めるとともに、保健指導等により市民一人ひとりが健康管理を行えるよう支援します。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1	虚血性心疾患の死亡 男性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率（率）	23.40	19以下
2	虚血性心疾患の死亡 女性 65歳以上の年齢調整死亡率	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率（率）	12.70	11以下
3	40～64歳の高血圧の割合	血圧180mm/110Hg以上の人/受診者（%）	0.50	0.00

	柱を構成する主要事務事業	区分
1	特定健診事業	実施
2	特定保健指導事業	実施
3	40歳未満健診事業	実施
4	後期高齢者健診事業	実施
5	国保40歳未満健診	実施
6		

基本政策間連携

施策の柱2

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策の柱3

名称		主管課	
詳細			

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
1				
2				
3				

	柱を構成する主要事務事業	区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		

基本政策間連携

施策等名称	循環器疾患対策	体系番号	0101010502
		主管課	健康づくり推進課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 ／ 達成率(実績値÷目標値)				
施策	虚血性心疾患の死亡 男性	23.40	20.90	18.50	未確定		
1	65歳以上の年齢調整死亡率	19以下	56.82	111.36	#VALUE!		

変動要因等	
2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24～28年の平均値。リスクの高い方への受診勧奨や保健指導を行っている。
2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25～29年の平均値。減少し、目標値を達成している。
2020年度	未確定
2021年度	
2022年度	

施策	虚血性心疾患の死亡 女性	12.70	11.90	9.90	未確定		
2	65歳以上の年齢調整死亡率	11以下	47.06	164.71	#VALUE!		

変動要因等	
2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24～28年の平均値。リスクの高い方への受診勧奨や保健指導を行っている。
2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25～29年の平均値。目標値を達成している。
2020年度	未確定
2021年度	
2022年度	

施策	40～64歳の高血圧の割合	0.50	0.87	0.92	1.38		
3		0.00	−74.00	−84.00	−176.00		

変動要因等	
2018年度	若年の高血圧者の割合は増加してしまった。
2019年度	1,198人中11人が重症高血圧だった。若い年代の方は特にリスクが高いため、保健指導を特に強化していく必要がある。
2020年度	昨年度よりも増加している。コロナの影響で受診率自体も下がっていることも影響したかもしれない。
2021年度	
2022年度	

柱1							
1							

変動要因等	
2018年度	
2019年度	
2020年度	
2021年度	
2022年度	

柱1							
2							

変動要因等	
2018年度	
2019年度	
2020年度	
2021年度	
2022年度	

柱1							
3							

変動要因等	
2018年度	
2019年度	
2020年度	
2021年度	
2022年度	

施策等名称	循環器疾患対策	体系番号	0101010502
		主管課	健康づくり推進課

3　評価・改革改善　（単位：円）

	項　目		2018年 （前年度比）		2019年 （前年度比）		2020年 （前年度比）		2021年 （前年度比）		2022年 （前年度比）	
評価	投資額	事業費(円)	52,183,277		54,543,529	1.05	49,111,232	0.90	62,453,000	1.27		
		うち一財(円)	26,450,884		28,366,175	1.07	28,948,032	1.02	21,444,000	0.74		
		増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）										
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている					
	総合評価	主な取組内容や成果	特定健診の実施率向上に向けて受診勧奨を行った。高血圧の治療中断者や重症高血圧者に訪問指導を行った。後期高齢者健診では、受診案内を個別発送し、受診者が増えた。		特定健診を受けてもらうことが出発になるので、なるべく多くの方に受診していただくよう、職員全員で受診勧奨を行った。高血圧の講演会を開催し、多くの市民の皆さんに高血圧対策が必要であることを知っていただいた。		コロナの影響もあったが、特定健診や保健指導を例年どおり行った。冬場の集団特定健診は、医療機関で受けそびれた方の受け皿となり、実施できた。					
		課題	特定健診を受けた人の高血圧者が減少していない。特定健診の受診者は、対象者の減少もあり、減ってしまった。		若年の人の高血圧が、今年度も減少しない。他市町村と比較しても高血圧の人が多い状態が続いている。		受診率が下がってしまっていること。高血圧者が増加していること。					
改革・改善	改革・改善内容		高血圧の人を対象とした市民公開講座を2019年度に企画する。高血圧者への保健指導、心臓疾患についての学習を通じ、質の高い保健指導を目指す。		高血圧対策として個別指導が大切になる。保健指導の質の向上や医療機関との連携についても検討をしていく。		高血圧記録手帳を配布することにより、高血圧のまま放置する人を減らす取組をしていく。医療機関にも置いてもらい、医師との連携をとっていく。					
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1					
		重点事務事業	1		1		1					
		理　由	特定健診を多くの方に受けていただき、リスクが高い場合は治療を開始し、生活習慣の改善につなげていくことが必要です。受診率の向上に向けた取組を行います。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行います。		特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診率向上に向けた取組を行います。					

作成担当者	小穴範子	小穴範子	小穴範子		
最終評価責任者	両角直樹	両角直樹	依田利文		
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月31日		